

剰余金処分計算書

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------------|-----------------------|
| I. 当期末処分剰余金 | <u>3,564,214,619</u> |
| II. 任意積立金取崩額 | |
| 1. 環境活動準備金取崩額 | 100,000,000 |
| 2. 事業・研修施設積立金取崩額 | 700,000,000 |
| 3. 安心安全活用準備金取崩額 | 400,000,000 |
| 4. 組合員施設準備金取崩額 | 100,000,000 |
| 5. 社会貢献基金取崩額 | 267,025,815 |
| 6. 別途積立金取崩額 | 7,340,000,000 |
| 合 計 | <u>8,907,025,815</u> |
| III. 剰余金処分類 | |
| 1. 出資配当金 | 131,931,219 |
| 2. 任意積立金 | |
| (1) コープみらい社会活動財団準備金 | 800,000,000 |
| (2) 災害対策等積立金 | 1,000,000,000 |
| (3) 固定資産再評価準備金 | 1,000,000,000 |
| (4) リスク対応準備金 | 8,000,000,000 |
| | <u>10,931,931,219</u> |
| IV. 次期繰越剰余金 | <u>1,539,309,215</u> |

〈剰余金処分について〉

II. 任意積立金取崩額

環境活動準備金、事業・研修施設積立金、安心安全活用準備金および組合員施設準備金は、コープみらい誕生前からそれぞれの生協で環境活動、商品の安全確保とリスクコミュニケーション、組合員施設、事業・研修施設の整備を確実に執行するために積み立てたものです。この間の事業の成果とコープみらい誕生により財務基盤が強化され、通常の予算措置でそれぞれの施策を執行することが可能となりました。よって、全額の取り崩しを提案します。社会貢献基金は、社会で有益な活動・事業を推進している団体を幅広く表彰・助成する役割を引き継ぐ「コープみらい社会活動財団」の設立のため、一旦全額を取り崩し、新たに「コープみらい社会活動財団準備金」として8億円を積み立てます。別途積立金は、不測の事態に備えるため積み立ててきました。様々な事業リスクに備え、経営の安定を積極的に図るという趣旨を明確にし、名称を「リスク対応準備金」として新たに積み立てるため一旦全額を取崩します。

Ⅲ. 剰余金処分類

1. 出資配当金

出資配当率は 0.2%とします。市中金利（定期預貯金利率）および経営状況等を参考としています。出資配当金は、年度平均出資金（500 円未満の出資預り金を除く）に配当率を乗じて計算します。出資配当金の受領金額は 20.42%の源泉所得税（復興特別所得税含む）が控除されます。出資配当金の支払は各組合員への出資金振替によって実施します。2015 年 3 月 20 日現在組合員で、引き続き総代会まで組合員の資格を有する人に支払います。

2. 任意積立金

- (1) コープみらい社会活動財団準備金は、従来社会貢献基金が果たしてきた、社会で有益な活動・事業を推進している団体を幅広く表彰・助成する役割を引き継ぐ「コープみらい社会活動財団」の設立のため、新たに 8 億円を積み立てます。
- (2) 災害対策等積立金は、大規模地震などの自然災害による施設の損壊からの回復に必要な額と想定される 215 億円の 1/2 である 108 億円まで 5 年間で積み立てます。今期は 2014 年度末 58.5 億円に 10 億円積み立て、累計で 68.5 億円とします。
- (3) 固定資産再評価準備金は、今後想定される固定資産の損失額まで継続的に積み増すこととします。今期は 2014 年度末 3.1 億円に 10 億円積み立て、累計で 13.1 億円とします。
- (4) リスク対応準備金は、従来「別途積立金（73.4 億円）」として積み立ててきました。自然災害にととまらず様々な事業リスクに備え、経営の安定を積極的に図るために名称を変更し、剰余金が出資金を上回ることを目指し、継続的に積み立てます。今期は 80 億円を積み立て、累計で 80 億円とします。

Ⅳ. 次期繰越剰余金

生協法第 51 条の 4 で定めている教育事業繰越金は、当期剰余金の 5%以上を次期繰越剰余金に含めて繰り越します。今期の教育事業等繰越金は 1.3 億円とし、次期繰越剰余金は 15.3 億円とします。